

Newsweek 誌(米国版)日本特集レポートにコメントおよび広告が掲載されました

当社代表取締役会長兼社長寺山満春が、Newsweek 誌 “SPECIAL ADVERTISING SECTION” の日本特集レポートのインタビューを受け、その内容が 2016 年 5 月 6 日発売の Newsweek 誌(米国版)に掲載されました。

下記は、レポートの該当部分を抜粋・和訳したものです。

<記事一部抜粋(和訳)>

グローバル市場を見据える日本企業

アサヒホールディングスは国内市場向けと海外事業拡大のふたつの方向でのビジネスモデルを追求している、と寺山氏は語る。同社が有する鉱山由来の貴金属精錬事業はさらなるグローバル化を目指して、多様な原料からの精錬と消費者向けの製品の提供という新しいモデルに取り組んでいる。「これは、ビジネスの拡大に向けて精錬から製品提供という全体チェーンに携わることを意味します。現時点でこれを実現できている精錬会社はありません。これによりわたしたちは Asahi を世界一の精錬会社にしたいと思っています」と寺山氏は述べた。

日本の持続可能性社会推進の中核を担うリーダー企業

「環境に関する問題はわたしたちにとって非常に重要です」と、アサヒホールディングスの寺山氏は、日本国内およびその産業界で広く認識されている意見にも言及して語った。「世界が直面しているさまざまな政治的問題により、昨今では、環境への関心がいづらか薄らいでいるように思います。このような環境問題への関心の低下を懸念しています。世界のリーダーは地球温暖化や気候変動のような問題をもっと真剣に受け止めるべきだと思います」

COP21 会議や今月 5 月の G7 環境相会議を受けて、各国政府は寺山氏の意味するところを理解しはじめたようだが、環境への適切な対応は産業界にとっても必要不可欠であると、寺山氏は強調する。アサヒホールディングスは 1952 年の創業以来、貴金属のリサイクルに取り組み、技術や製品・サービスの開発を通して、地球環境保護の活動で他社をリードすることで、一貫して環境関連分野での先駆的企業を目指してきた。

大気汚染に加えて今日の日本における環境問題のひとつは廃棄物の適正処理である。現代の生活は多量の廃棄物を生み出すが、日本のように国土の狭い国にとっては、(その埋立のために使える)余裕は限られたものだ。廃棄物処理にも技術を有するアサヒホールディングスは、多くの種類の廃棄物の無害化や適正処理に携わり、持続可能でリサイクル重視の社会の実現に向けて、環境問題に取り組む先駆的企業である。

「わたしたちビジネスに携わるものにとって、地球環境を守り良くすることに貢献することこそが一番重要なことだと思います」と寺山氏は述べる。「地球環境は、いわば次世代からの預かり物です。ですから自分たちの時代で壊してはならないのです」

(続き)

人口動態上の大きな変化 – 事業の多様化・多角化のチャンス

「世界的にみても健康志向の高まりや高齢化の進行があることから、ライフ&ヘルスは、誰もが注目する分野だと思います」とアサヒホールディングスの寺山氏は述べる。同社はマッサージチェアやその他健康関連機器の製造にも事業の幅を広げつつある。「買収を契機に、このビジネスに取り組みはじめてまだ1年です。私たちが買収した会社はこの業界や市場でさまざまなチャネルを持っていますので、どのような健康関連機器製品が顧客ニーズに最も適合するのかについての見極めと選択に取り組んでいるところです」

事業の成長に加えて、日本が抱える人口動態上のジレンマの解決へ貢献したいという思いもありこの事業に取り組んでいる、とアサヒホールディングスの寺山氏は述べる。「日本の財政状態は悪化していますが、その理由のひとつに、高齢化の進行によって政府が負担しなければならない医療費や社会保障費の増加があります。人びとがより健康になることができれば、社会的コストを減らすことができます。わたしたちは、ライフ&ヘルス事業を通じて、人びとが健康になることに貢献したいと思っています」

レポート原文

<http://www.theworldfolio.com/files/file/report-572ca6f6f070d.pdf>

レポートの元となったインタビュー内容 (THE WORLDFOLIO ; 2015年11月実施)

<http://www.theworldfolio.com/interviews/with-clear-focus-on-creation-asahi-holdings-looks-to-transform-the-precious-metal-business-operations/3847/>

(日本語訳)

http://www.asahiholdings.com/news/2016/pdf/20151228_Interview.pdf

本件に関するお問い合わせ…

アサヒホールディングス株式会社 企画部

東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー11F

電話 : 03 (6270) 1818